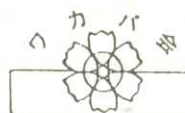




わ
か
ば



第57回同窓会御案内	1
会長・名誉会長挨拶	2
母校だより・先生方近況	3
先生方のご異動・支部連絡先	4
クラス会だより	5
告知板	6
特集・同窓生の活躍	7
総会報告	10
ひろがれワカバのわ	11
委員会報告	12
理事会等報告・追悼	13
企画委員会行事のお誘い	14
事業所だより	
(別刷) 軽井沢マップ・山荘案内	
事業運営委員会行事のお誘い	

目次

第57回 同窓会総会のご案内

日時：平成 6 年 5 月 22 日 (日)

午後 1 時～ 4 時

会場：母校音楽講堂

議題：平成 5 年度事業報告／決算報告
平成 6 年度事業報告／予算案審議

会費：1,000円

▶ 議事終了後、親睦パーティ及び、福引大会を行います。軽井沢山荘宿泊券のほか、賞品を用意して、会員の皆様のご出席をお待ちしています。

▶ 今春卒業の新入会員の皆様には、新入会員名簿を進呈。しかも会費は不要です！ぜひご出席下さい！

▶ 4月29日の総会はありません。

会員のみなさまへ



ワカバ会会長 小野 紘一

このたび私は若菜允子さんの後任として、会長に就任いたしました。

前会長の若菜さんの適切なご配慮により、ワカバ会は名実共に充実した組織となりました。

その第一点はまず、会員名簿の整備です。これにより、会として会員の全体像が把握できるようになっただけでなく、会員相互の連携にも相当な効果を発揮するようになりました。

次には、会費制度の確立です。会費制度が明確になったことにより会員の皆様からのたくさんのご協力が得られるようになり、ワカバ会の財務基盤を充実することができました。このことは、最近の年次総会での会計報告により明らかとなっております。更にコンピュータの導入です。会務の処理手続にコンピュータを導入することにより、名簿の整理や会計処理が迅速に行われるようになるばかりか、会員の皆様に関する各種情報の伝達や山荘の効率的な運用など、その効果は図り知れないものがあります。

このようにして、ワカバ会の基盤は整備され充実いたしました。

このようなワカバ会を会員のための会として、より一層発展させたいと願っております。具体的なご要望やご提案をお寄せ下さる等、会員の皆様の積極的なご協力をよろしく願います。

(8—3)

同窓生のご活躍を生徒の啓発に



都立三田高等学校校長 森山 晴美

まず初めに昨秋の七十周年行事へのご支援をお礼申し上げます。おかげ様で大変中味の濃い、格調高い式典と祝賀会を行うことができました。式典ではお二人の同窓生の方に、各々の三田高の思い出を語って頂きました。祝賀会では祝歌の独唱とお琴の合奏を、同じく同窓生の方々が引き受け下さいました。いずれも三田高のすばらしい伝統の厚みを、全生徒と教職員、来賓の方々に見せつけて頂いたもので、感謝のほかにありません。若菜会長はじめ同窓会の皆様に改めて厚くお礼申し上げます。

三田高に来て正味十箇月になりますが伝統校ならではの良きものに触れる機会の多い日々を感謝しています。樹木の茂る山、温水プール、音楽講堂、校長室や応接室にある古い額や初代校長の肖像や大きな柱時計などには、三田の歳月が感じられます。明るくのびやかな生徒たちには現在と将来の三田の展望を感じることが出来ます。今年は久々の単独選抜に、都立高校はまたもや私立高校の後に廻った感がありますが、教育内容についてはゆったりした自信を持って今後とも励んで参りますのでご安心ください。

それにつけても各界でご活躍の同窓の方々の存在を、もっと在校生に知らせて啓発の機縁と致したく、今後ともご協力いただければ幸いです。

退任のごあいさつ



前ワカバ会会長 若菜 允子

本年三月末日をもってワカバ会会長を退任することになりました。長い間会員の皆さまにはいろいろご協力をいただきありがとうございました。心から厚く御礼申し上げます。

ワカバ会は、本年四月一日から小野紘一会長のもとで新しいスタートを切ることになりました。小野会長はこれまでワカバ会理事として総務委員会の委員長を務められ、また会費の改正に関する委員会の委員長・創立六十周年記念事業実行委員長として長年ワカバ会の運営に多大な貢献をされてこられました。理事をはじめとする関係者は小野会長の指導力を高く評価し、また誠実なお人柄に全幅の信頼を寄せて参りました。

ワカバ会もあと五年で創立七十周年を迎えますが、この間に会員の男女比率も同数近くなり、男性会長への期待も高まりました。小野会長は弁護士として多忙な生活を送っておられますが、どうしても男性初代の会長をお願いしたいという理事会一致の希望を受けて会長をお引受け下さることになりました。私も会員の一人としてうれしく感謝一杯です。

これからのワカバ会是小野会長のご指導のもと、会員相互の交流の場として益々発展してゆくことと信じております。小野会長のもとに新しくスタートしたワカバ会のため今後ともご支援ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

母校だより

祝 創立70周年記念祝賀会

東京 都立三田高等学校



▲創立70周年記念式典

平成五年十月二日に本校の創立七十周年記念式典と祝賀会が行われました。体育館における式典では、弓道部員代表による特別演技「三人一射礼」や大山のぶ代氏(4-6)の講演のあと、白珠祭で毎年歌われている「ころの熱いうちに」の作者である青山真司氏(30-3)を迎えて在校生と共に歌いました。

午後からは音楽講堂で祝賀会が盛大に催され、同窓会員も多数参加、この席では、桐生郁子氏(4-1)の祝典歌が渡辺和子氏(4-3)の伴奏で、また佐々木昭氏(5ア)伊狩久子氏(13-1)等による箏曲の演奏が行われました。

先生方近況

平成六年四月の入学生からは、旧社会科が地歴科、公民科になり、家庭科の男女共修が導入されるなど十二年ぶりに高校の教育課程が改定されると同時に、都立高校の入試選抜方法が「グループ選抜」から「単独選抜」に大きく変って、三田高校は七十年の伝統をふまえながら新たな一歩を記す節目を迎えました。

母校を転退職なさった先生方の近況をうかがいました。

国語 松田正義

『方言生活30年の変容』に対して新村出賞を頂きました。只今その続編を執筆中ですが、さて完稿までの命を天が下さるかどうかわかりません。八十八歳—大分大学名誉教授(44年定年退官)

理科 小此木慶

自宅改築のため3ヶ月中野区に仮住。60年目の転居で知る環境の違いを体験。仮住も「狭いながらも楽しい我家、愛の日影のさすところ」健在です。

国語 青木木寛哉

三田高校を離任して以来早くも二十年、六十七歳になります。帰去来兮。栃木小山の田園の居を往來しています。

家庭 秋山初枝

健康を感謝しつつ老化は人並みと自認。呆け防止は専ら主婦代理、日々老

若男女六名のもとに必じ努力。和やかに手ぬきの家事研究中。

国語 白居和子

今年十月で八十歳になりますが一応元気で居ります。かな書道に携わり又万葉講座に出て十年余、些か年々老いの生甲斐として居ります。

英語 大澤光美

ワンダーフォーゲル班(部)顧問として合宿山行の引率をするのみならず、個人的にも国内国外の自然に触れて楽しんで居ります。

家庭 大日方ヒロ

私が退職してから半世紀が過ぎました。懐かしい記憶が甦ります。神様の恵みて生かされているという感謝の日々で、ございます。

家庭 菊地福

北国は、雪多き年です。私、只今、八十五歳、三陸海岸宮古市に娘夫婦達と元気に暮らしています。孫・曾孫達は、福島・東京在住です。

英語 鞍馬菊枝

去年の今頃は骨粗しょう症で背骨三ヶ所が折れ、激痛で入院。退院後も鈍痛が続く、漸くこの頃二時間位は起きられないようになりました。お医者様、ヘルパー、その他多くの方々に恵まれ感謝です。「わが恵み汝に足れり」ラジオの英語番組を聴いたりして感謝しつつ楽しく毎日を過しています。

地理 長津一郎

おかげさまで無事すごしております。第六高女に出勤しております。当時の場所に、家もその当時と殆ど同じ状態で住んでおります。

家庭 羽野みき子

今年度より男子も家庭科を学ぶこと

になり、念願がかないました。四月からの教育テレビの講座開設準備に忙しくしております。

物理 原村文

第六高女三回生です。在学中にはぐくまれた「心」は今も変わりなく、伊豆の自然の中で読み書きに明暮れて心豊かに過して居ります。

体育 福岡初恵

只年を重ねた丈でお願い限りです。

丸山先生の御薫陶のお蔭で脚は丈夫の筈ですのに最近足が弱くなりました。皆様の御健康と御発展祈り上げます。

家庭 松原静子

八十歳を越し娘と孫の三人の生活をして居ります。加齢と共に現れる持病を自然の流れと受けとめ、快よりハビリに励んでおります。

家庭 松元文子

「青春とは心の若さである」との松下幸之助氏の言葉を心において、ボケ頭ながら、やっと読んだり、書いていたり歩いたりしています。

理科 山口晋

年寄りの冷水と云われながら、最近近くの山登りを始めました。不思議なことに山で逢う人は、年配者が目立ちます。

数学 横山正三

鉢の植木のブナの葉は枯れても枝を離れない鉢の植木の梅の花。明日か次には聞きそう庭一ぱいの日の光。

音楽 三澤寿喜

四月から北海道教育大、函館校に転勤。

平成五年度 先生方のご異動

退職

依田 好雄 (校長)
井上 清志 (教頭)
黒杭 清治 (化学)
内山 勉夫 (英語)
内田 雅克 (英語)
富士 智和 (主事)

転出

西山 昭宣 (社会) 大森高校
小栗 洋 (数学) 神代高校
島藤 国夫 (実習助手) 中野工業高校
戸部 健一 (主査) 足立高校
林 克巳 (主事) 港区立東町小

転入

晴美 (校長) 日野台高校
緑川 佑介 (教頭) 葛西南高校
住吉 貴之 (社会) 足立東高校
石田 典昭 (数学) 青山高校
奥田 務 (化学) 小平高校
田中 浩 (英語) 南高校
樋口 和嗣 (英語) 明正高校
中尾 高淑 (実習助手) 青山高校
清水丹味子 (主任) 板橋区立金沢小
松崎 信行 (主事) 稲城高校
本郷 克己 (主事) 新規採用

平成六年度 先生方のご異動

退職

高柳 英男 (進路)
滝山 怜 (AVL)
長雄 新一郎 (美術)

転出

緑川 佑介 (教頭) 篠崎高校校長
岡川 重矩 (国語) 高島高校
高橋 進 (数学) 白鷗高校
石野 恵美 (英語) 東高校
小泉 園枝 (養護) 雪谷高校

転入

久保 (教頭) 小平高校
南美 (国語) 千歳丘高校
三谷 博俊 (国語) 深川高校
森田 晶代 (保体) 小平南高校
江口 千鶴 (英語) 紅葉川高校
上岡 千佳子 (養護) 羽田高校
河原 義朗 (AVL) 赤羽商業高校
北橋 秀夫 (AVL) 本所高校
田中 洋寿 (事務) 教育庁

三田高校に
着任して

田中 浩



もともと三田で生まれ育ったのでこの学校は古い木造校舎の頃からみていました。今授業にでている二年生とは十五歳年が違いますから、十五年前は私はこの学校の二年生だったことになります。

ただその頃は、再びこの学校にきて教えることになるなど想像もつきませんでした。ただあの頃は英語が好きだったので漠然と英語教師になりたい、ぐらいに思っていただけです。ですから昨年こちらの学校に転任することになった時は、嬉しいとか、悲しいとかではなくて、ただ驚いていました。

私は新校舎になっての最初の入学生でしたので、当時は何もかもが新しくきれいでした。また当時の私は用がなければ極力、職員室など入りたくない、と思っていました。また当時の私は用がここにきて、初めて職員室に入ったようなもので、正直言って、ずいぶん狭くて雑然としているなあと思いました。それがこの四月に来たときの正直な感想です。

まあそれやこれやで、もうここへ来て一年近くたつてしまいました。ようやく慣れかけてきたかなあという感じがします。私は、前任校も含め、自分から今いるところを出ようと思ったりしない質なので三田でもこれから暫くお世話になるつもりです。ほんの少しだけでもこの学校にとってなにかの足しにでもなればと思っています。(32—5)

支部連絡先

札幌	5エ	白居和子	〒064	札幌市中央区南17条西12丁目	011-561-8810
東北	7ウ	寺嶋辰代	〒981-04	宮城県桃生郡鳴瀬町野蒜字北赤崎32-7	0225-88-2028
浦和	18修オ	中村泰子	〒336	浦和市前地3-5-12	048-885-7476
千葉	17-6	進藤英津子	〒261	千葉市美浜区磯辺6-6-10-304	043-277-3469
湘南	13-ア	桑島晴江	〒251	藤沢市辻堂東海岸4-10-28	0466-35-5852
静岡	18修イ	田中和子	〒420	静岡市五番町20	0542-52-8831
名古屋	15イ	小林れい子	〒446	安城市池浦町池西206	0566-76-6819
関西	17ア	筒井昭子	〒591	堺市中百舌鳥町7丁宮路池2-304	0722-86-9148
京都	1D	米田道子	〒651	京都市右京区西院東淳和院町33	075-311-2480
福岡	2E	富田やす子	〒812	福岡市東区貝塚貝塚団地5-45	092-641-0381
大分	4-4	工藤延子	〒870-02	大分市南春日町10-9 山下方	0975-43-3100

クラス会だより

5ア 小布施 光子

長浜先生の米寿をお迎えするお祝いを十月七日の大安吉日を選び開催いたしました。幹事で時々お会いし予定をたてましたが先生のお身体の御都合で御欠席とのことで急に目白でいつもの様なクラス会をいたしました。出席者は十五名でした。八十路を迎える私共としてはまあまあのお集りでした。先生からのお手紙を中田さんが読みあげ一同感謝申しあげました。記念品は皆様にもお目にかけ後日お宅に持参いたしお喜びいただきました。先生の御健康を念じつつ散会いたしました。

9ア 藤本澄子

平成五年五月十三日十二時、原宿東郷神社境内水交会に十三名集合、私共は当番を決め毎年会を続けている。乾杯！数々の御馳走「ちよっとビーちゃん！」「あらスガゴ！」ニッケネムがとびはじめ、俄然愉快な雰囲気になってゆく。十六時、慰め励まし、思いのままのお喋りに第六時代の笑顔が甦り、家路につく。いよいよ喜寿を迎えようとする私達、クラス会は、貴重な出会いのひとときである。



12オ 宮本蒼子

平成五年五月二十日に、クラス会を催した時の写真です。集まったのは十四人。朝から少々雨もよいの天気でした。場所は東京会館のプルニエ、幹事三人、ギリギリになった会場さがしくたげれば、ての、少々贅沢な選択でした。先ずワインで乾杯。そのあとは、おいしい料理を、いい雰囲気の中とめどなくおしやべりが続き、誠に楽しい午後をすごしました。此の次のクラス会の幹事は、紀さんと、門川さんです。



16ウ 齋藤登美子

私達は平成五年、第六高女卒業五十周年を迎えました。春麗かな四月三日のク



ラス会には小此木先生においでいただき先生を囲み学校時代の思い出話に花を咲かせ和やかな時代のいいひとときを過ごすが出来ました。九十二歳の先生と六十七歳の生徒達ですが先生の明るい朗らかな御長寿の秘訣等、五十年前の化学の時間より、はるかに熱心にそして和気合々とお伺いしたりしました。卒業五十年も経て私達は未だに師と仰お方をもち、共にたのしくお話し合いが出来るとは本当に幸せと思います。五十周年のクラス会に相應しい有意義なたのしい会でした。小此木先生どうぞ御元気で!! これから私達は先生を見習ってまいります。ウ組一同の気持ちでございます。

19エ 茨木万理

19回エ組(徳恵会)の本年のクラス会の写真です。十月29日、場所はクラスの河合やす子様のお嬢さまのお店で、予定より2名少ない14名が乙女時代に帰った楽しいひと時を過ごしました。二次会はお近くの河合様のお宅にお邪魔してしました。



2-2 神野能生子

私達は太平洋戦争末期に入學し在学中に敗戦と戦後の混乱を体験した。学制改革で第六高女から三田高校になり卒業も高女22回と高校2回に分れた。故氷上・涌井両先生を囲んでイ・ウ合同でクラス会をしてきた。還暦を過ぎ「旅行したい

ね」と、5月29日夕刻木曾川べりの名鉄犬山ホテルに24名が集合。おしゃべりて楽しい夜を過ごした。近くの国宝犬山城・茶室如庵や明治村へグループに分れて訪れ緑を満喫。一部は高山まで足を伸ばした。



5-1 今野貞夫

平成五年九月に同学年の方と山形県に旅して参りました。数多く急な石段の続く立石寺(山寺)の参拝、山形市内と蔵王エコーラインのドライブ、宮城蔵王こけし館とこけし工房の見学などを、上山温泉に宿泊し、愉快に楽しめて参りました。参加された方は、大木安民子、大竹優子、折原松子、川上喜子、塩田昌子、田里久子、田中美子、竹内和世、竹内綾子、丹下節子、千田初江、仲村定子、日口雅子、湯原郁子、玉置修次、今野貞夫(敬称略)の十六人でした。幹事の方のお世話に感謝致します。



4年ぶりの同期会。ご出席頂いた先生方の若々しさに圧倒され、100名にも及ぶ会は一気に高校気分。授業中横目で見届けた東京タワーの建設、日比谷での第九合唱：会場のあちこちに懐かしい声が弾んでいく。社会人として驚く程多方面に散っている友だちの話に思わず引き込まれる。余り印象の無かった友が魅力いっぱい仕事をしていたり、人の可能性や力や夢など触発されることが多い。熱い



12-3 鈴木茂晴

6-5 飯山精三
去る七月五日、恩師佐瀬先生をはじめ、同じ教室で一年間を過ごした五組の面々が、母校からも程近い芝の東京プリンスホテルへ参集しました。丁度四〇年前の昭和二十八年（一九五三年）、共によく学び、よく遊んだ仲間達です。
この四〇年という長い年月の間、私達一人一人は多様な人生を刻んで今日に至っていると思いますが、そこはそれ、逢って話しが始つてみれば、時の刻みは忽ち青春時代へと逆戻り。会場が午後いっぱい使用できたことあつて、時間的余裕はたっぷり、一同大いに飲食をし、そして積る話は尽きることなしといった次第です。
お互に健康に留意して、次の機会での再会を約して散会しました。
今回都合がつかず、出席できなかった方々も、次回には是非共お逢いしたいものです。

魂と優しさが交じった楽しい一日でした。

26-2 大根田悦子

卒業以来ずっと続いているわがクラス会ですが、昨年は横浜・関内のフランス料理店で開催されました。担任の土屋先生の中国旅行みやげ話を始め、それぞれの近況報告。そして酔うほどに高校時代の思い出のひとコマ、ひとコマが甦つてきました。
早いもので、今年で卒業二十周年。六月予定のクラス会には多数の参加を、願つております。そして、同期生の皆さん、五月のワカバ会総会で集まりましょう。



告知板

- ① 名前
- ② 活動または催物の名称・案内等
- ③ 会期・場所
- ④ 問い合わせ

- ① 久保絢子（高5-3）
- ② 昨午亡夫久保和彦（昭33-48本校ドイツ語科講師）の遺稿・追悼集「帰還」——Wachtel——を自費出版しました。
- ③ 上・下二冊本棚、箱入り、領価二千円
- ④ 残部少々あり、御希望の方は久保まで
☎ 0424-6511947

- ① 小西玲子（8-1）
- ② 歌集「夕茜」3、000円
- ④ 千188田無市芝久保4-4-4 A301
☎ 0424-6516490

- ① 加藤恭二子（田職員）
- ② 加藤恭二子第23回ソプラノリサイタル
- ③ 1994年11月18日（金）7時開演・於こまばエミナリス
- ④ 3313-0787（加藤）または5721-4621（日本交響楽協会）チケットぴあ・チケットセゾン扱い

- ① 竹内和世（5-4）
- ② コーラス 加藤恭二子先生指導

楽しく歌いませんか？健康のためにも良い呼吸法・発声法を主体に楽しい雰囲気歌っています。初歩の方、大歓迎です。三田の卒業生もたくさんいます。一度参観なさってみてください。
こまばエミナリスにて発表会あり。

- ③ 第一・第三水曜日（原則として）午前10時半-12時半テッド・アート・スタジオ（恵比寿駅より7分）
☎ 0425-6610270（竹内）

- ① 川上喜枝（5-4）
- ② 珊瑚の会（三田第五回卒業）
- ③ ワカバ会山荘 9月11日12日
☎ 045-966211896（川上）

- ① 高橋良子（17エ）
- ② 船海の軌跡 小林秀雄論
- ③ 当代一の評論家の本質にせまる批判。漱石と三島論を付す。
- ④ 武蔵野書房
〒185国分寺市本多二一九-八
☎ 0423-2610201
定価二〇〇〇円

- 三田高校OBオーケストラ第3回演奏会
- 一九九四年一月一日（祝）
- 13:30開場 14:00開演
- 会場 大田区民プラザ大ホール
- 曲目 モーツァルト
- 交響曲第40番短調 他

問合せ先

☎ 03-3261-1840
菊地宏（43-7）

三田高校OBオーケストラ役員

代表 菊地宏（43-7）

03-3261-1840
運営委員長 松本典子（41-3）
03-33781-2181

クラス会は？

☆高女9回才組のクラス会・決定例年通り、車椅子でも参加できる場所です。4月20日ころまでにご連絡下さい。
日時 5月13日（金）12時-3時
場所 東急新玉川線二子玉川園駅前
高島屋6階特別食堂（11時半集合）
会費 五千円程度（当日徴収）
本年度幹事 吉井登美代（杉本）
☎ 03-3721-5174
船木博子（広瀬）
☎ 03-3302-0393

☆高女18回生の皆様へ

今年は私達の卒業五十周年に当たります。三月か四月頃に盛大に会を開こうではありませんか。その時はぜひ御参加下さい。各クラスの当番幹事がお決まりになりましたら御連絡下さい。各クラスの御意見を検討して良い会にしたいと思ひます。
（幹事 川村洋子・西五辻静子）

☆高校26回2組のクラス会（土屋裕先生）

場所は未定ですが、六月頃にクラス会を開きたいと思ひます。
連絡先 根本雅司
☎ 045-871-0837



特集 同窓生の活躍

ワカバ会の歌人について

5イ 中村 幸子

きっかけは私が大病をして余後を三河の発電所長の叔父の所で過していただいたと級友の平野玲子さんが、北原白秋の歌集「白南風」を送って下さったことです。平野さんはその前年同級の井上とし子さん、と歌誌「香蘭」に入会していたのです。病癒えて私が白秋創刊の「多磨」に入会したのは昭和十二年。井上とし子さんは

は第一回香蘭賞を受賞され輝かしい歩み出しを示していました。平野さんは子育てや夫君の転勤で短歌を中絶しその後コスモスに入会、歌集「科野」刊。もう一人同級の佐々木綾子さんは「心の花」でいま毎月佳作を発表しています。さて同門「多磨」にも山田恵美子様(2エ)三木アヤ様(コスモス)(10・イ)がよいお作を見せていました。33年浦和へ転居し、埼玉歌人会の仲間に入っつてすぐ「潮音」の宮田リキ子様(1・C)が先輩に居られ頼もしいことでしな。 (今は御入院中) 私は白秋先生の「鑑」を頂いて小誌を続けて歌壇の端に名を列ねておりますが毎年多くの歌集を頂く中に、魅力ある方の「醍醐」の西村弥生様(6・エ)「明日香」の竹内和世様(5・4)がワカバ会と知った嬉しさ。信夫澄子様(6・ア)は知名の異色ある方ですがまだお目もじの機を得ません。ワカバ会にはもつと多くの歌人がおられると思いますのでこういうものを書かせて頂きましたのを機に「わかば会短歌の集い」でも開いてみたら如何でしょうか。(筆名紺野幸子)

傘寿を迎えて

5オ 秋山 かつ

卒業して早や六十年、間もなく傘寿を迎える歳となり、家族に囲まれ幸せな毎日を送って居ります。六十を過ぎ楽しみに始めた詩吟にのめりこみ、岳風会に籍を置き、試験の度に学生時代を思い起こし夢中で日本史、中国史、漢文、古文、和歌と勉強し、師範の御許しを頂き、今は二十人程の方々に教えて居ります。皆様年配の方々が、実に熱心で私も心を打たれて懸命です。稽古が終われば、雑談の中で人生勉強をしながら張りあっている毎日を送って居ります。

中高年の水泳

12ウ 内海通多子

一年中泳げるという理由で第六に入学以来六十年、未だ水泳と縁が切れません。現在は世田谷区の千歳温水プールで中高

年女性を対象にスイミングクラブをやっています。生涯スポーツとして楽しく泳ぐをモットーに15エの峰谷、森沢両嬢と助手数名とで、生徒数は常時三五〇人位。火曜、金曜日とても活気のある楽しいクラブです。今年はクラブ創立二十周年を迎えました。中高年の健康保持、そして生きがいと時代に即した仕事だと、聊か自負している次第です。

友達との出会いを大切に

12オ 鈴木 能利



宮城県石巻市は港町、戦後夫の病院勤務の為に赴任しました。知人はいない不安一杯早く地域に馴染む事と思い、進んでPTAに参加、当時の読書クラブの人達と毎月図書館に本を借り、活字離れ惚けないよう二十数年今も続いています。又革手工芸は手ほどきをうけ後グループで知恵を出し、教え教えられ皆で手作りを楽しみつつ、励んでいます。又月二回童謡の会で歌い、心温る多くの友達に出会って幸甚。私の心の財産と思っています。

古希を迎えて

15ア 池 香恵子

若い時に主人を中年で一人息子を亡くし一人ぼっちの人生ですが現在も三越のオートクチュールのアトリエを経営しております。若い頃始めたゴルフ下手の横好きのまま続いています。毎夏の軽井沢

募集!!

ワカバ会の事務所(三田高校六階)に勤務して下さる方を募集します。
勤務条件
月々金曜のうら三日位、通年出勤出来る方、高校十回生以降の方を希望しています。
勤務時間は十時から四時までです。事務所は学校内にありますが春休み、夏休み中も開所しています。
現在は、高校七回、九回、十二回、二十四回生の方が勤務されており、本年度からパソコンも導入され、年々合理化が図られてきました。全会員二万人のステーションとして大切な事務所の仕事をしていただく方、どうぞ応募下さい。
応募ご希望の方はワカバ会事務所宛に履歴書をご送付下さい。
理事会担当者よりご連絡申し上げます。(理事會総務委員会)

倉林桂子
☎ 03-3744-2724

☆バスケット部三籠会・紅白試合
高校5、8回のバスケット部OB会の三籠会が、今回は6回生の還暦をお祝いして紅白試合を致します。

日時 平成7年1月29日(日)
場所 聖徳大学松戸校体育館
連絡先 篠根章高
☎ 03-3996-2674
(昼間 3943-3050 秀光 社)

山田一穂
☎ 0473-647514
(昼間 0473-651111
1 聖徳大学)

のコンペでは若い方々とプレーを楽しんでいます。最近ではコーラスにも入らせて戴き新しい発見に吃驚しています。今健康で平穏な毎日ですがこれまでの人生を乗り切れたのも第六で培われた精神と暖かい友情が支えになってたと感謝で一杯でございます。



これからも「夢」を求めて

15イ 大江多慈子



今朝、窓を開けたら白銀の世界。私の心はスキー場へとんでいきます。第六時代に参加した妙高高原。丸山校長先生を初め、みんな手を前にのばしお尻をつき出して滑った直滑降姿勢は、いまだに顔をのぞかせています。上手とはいえませんが私の趣味の一つとなりました。

日常は子どもと共に四五年、幼稚園や大学の幼児教育科で過してきました。今年退職したら、豊かな子どもたちの素顔を書きとどめてみようと考えております。

私の山歩き

15オ 白鳥 まき

私共は長女の家族と暮して居り白鳥は俳句を、私は家事の傍ら目黒ハイキングクラブに入り三ヶ月に一度位山行に参加しています。第一第三水曜日に例会を持ち、ファミリー企画、個人の三種の計画が発表され、自分の体力、好みに依りグループに参加します。二年の夏、尾瀬に行つ

たのが山歩きの初めてでした。又鼻曲り山富士山にも登り、其の後終戦、結婚、子育てを経て、漸く自分の時間を好きな様に使える時が来ました。感無量の心境です。

人生七掛け時代

15イ 青木美枝子



全力投球をした小学校校長職を辞して八年。総務庁の行政相談委員、市の社会教育委員や公民館運営委員等を通して、微力ながら働んでいます。社会の諸方面で多くの女性が盡力しておられるのに感銘します。第六時代の友人達も、水泳にボランティアに外国旅行に興味に生き生きと活動していて、わが第六高女育ちの真価を発揮しています。

人生七掛け時代とか。齢六十八歳は七掛けて四十七歳。これから青春です。

江戸芸かつぱれ

22ア 高尾 幸子



もともと江戸情緒の好きな私は、新聞広告で知り、東京からみえておらず、日本で五人しかいらつしやらない替間の一人である櫻川右こん師匠に江戸芸かつぱれを習い、師に範をとり、教えたり色んな所で踊らせて戴き、先日も雪まつりの雪像の前で吹雪の中踊りました。師匠がその中東京の寄席で踊らせてあげるとおっしゃるので、楽しみに致しております。

私の美術行脚

2-2 佐々木恵美子

古美術探訪会が誕生して20年になります。当時はカルチャースクール等は皆無。草分け的存在でした。自分の興味あることを学び続けたい方のために、自宅を開放しまた寺小屋式の教場でした。現在もそのまゝの姿です。机上で学んだことの確認の旅、国内はもとより海外へも出向きます。30回にもなりましょうか。すべて手作りの内容濃いもので、皆さんに満足して頂いて居ります。夫と二人少しでも楽しく学べるよう努力を続行中です。



ワイルド・スワンの国

2-2 立松 慶子



この数年間、年に二・三回隣邦中国を訪れています。もともと中国石窟を見て

歩くのが目的なのですが、訪中の度に、沿海都市などの最近の急激な変化進展を目の当たりにして驚いています。時代は时时刻刻大きく変化していると実感させられます。旅で出会った中国や西欧の若者達の生活や意見を、帰国後日本の高校生に伝えるのも私の役目です。

日常は、ヨーガ、大極拳、山歩き等を続けて、おかげさまで健康に暮しています。

保護司として回想

2-3 岡村 悦子

保護司を拝命して二十一年。担当した多くのケース窃盗、暴力、交通事故から覚醒剤やシンナー濫用等の非行少年達達です。平和な飽食の時代に親の溺愛・放任、お金を渡して食事を作らない母親等、身体だけ成長して心が幼稚な少年達。又非行を続ける少年が寝ている間に首をしめて自分も死にたいと涙で訴える母親には命の尊厳や人権を話し、慰め一緒に泣いて上げた事もありました。

将棋

5-1 峯尾 勇



将棋、ボケ防止のために始めたわけではない。今、私は四段の実力、時々近隣の方に将棋の指導をしております。仕事(福祉関係)で疲れ、帰りの電車の中で難解な詰将棋を夢中になって解いていると、いつの間にか最寄りの駅に着いておられます。私は勝負で負けるのが好きです。弱い人に勝つのは当たり前、負けてその強い所を学ぶのです。

定年も間近、これからは好きなビールと将棋は私の一生の友となるでしょう。

輝いた時を過す

5-3 前田 和子



武蔵丘短大健康生活科で健康管理を教えます。一方ワカバ会で手ほどき受けたヴァイオリンを手にアマチュアオーケストラに加わり、仕事と趣味を共存させ満足しています。このように輝いた時を過す基となったのは、今死亡率一位として恐れられている癌に二度も罹患し、過酷な治療をのりこえ、それをバネとして我が貴重な一生を癌と生々つきあう毎日です。癌の早期発見をお薦めし、皆様の健康を願っています。

再会、三十八年を経て

8-1 小西 玲子

昨年十一月、三十八年振りのクラス会に出席することができました。



三田高校を卒業後、二十二歳で結婚し一児を得た直後に「背椎血管腫瘍」と言う病に侵され、前後三回の手術を含め六年間に及ぶ闘病生活の末、下半身の機能を完全に失い生涯車椅子から離れられぬ身となってしまいました。この事によって私の人生計画は根底から崩れてしまっただけで、生きることにそのもののへの意欲も失ってしまいました。

三十数年も昔の日本の福祉行政及び社会の人々の理解は現在よりずっとお粗末なものでしたので、一般社会の中で障害者が個を認めてもらい人として当り前の生き方を希むなら、並大抵の努力を重ねなければ、幾つものハードルを越えることはできませんでした。

幸い私は家族を始め周囲の人々に恵まれ、病院の手を離れ、数年のブランクはありましたがものの心機一転、車の運転免許取得を皮切りに社会復帰の途に就き、現在に繋がる自立の日々を得ましたことは、誠に幸運であったと思います。とは申せ長い年月の間には何度も挫折感を味わうこともありました。

昨年、NHKの募集に応じ、波瀾に富んだ半生を綴りました文章に賞を頂きましたと前後して、病床の日々から詠み続けてきました短歌を歌集として上梓しましたところ、思いがけぬ程の反響があり、種々なメッセージを受けることができましたことは、私自身はもちろん、多くの人々の夫婦、親子、家族関係を始めとし、更に社会問題に至るまで深く考え直す機会を与えられました。

三田高校を卒業してから三十三年、十六歳の時から本格的に音楽の勉強を始めて三十五年、桐朋学園卒業後、ピアノの主人との結婚、ドイツへの留学、ヨーロッパでの演奏、そして日本での演奏活動。母校での後輩への音楽指導と私の人生の殆どの時間は音楽と共にある。よい歌をよい演奏が出来るようにと願いがら私の毎日は練習を中心に進む。限りある残された時を大切に、最後を迎えるまでこの思いのままでありたいと心から。

五回卒生が還暦を迎える!!

5-3 仲村 順二



五回卒生は昭和二十八年に卒業、今年又は来年に還暦を迎えます。男子生徒は私達が第一回生。学校も生徒も夫々に強い印象を残した学園生活で卒業後もましまりのよい学年です。珊瑚の会と称する同期会があり五年に一回位総会があり最近では平成二年にホテルメトロポリタンで実施。有志に依る旅行グループも生まれ年一回旅行を実施。一部男子グループは銀座のバーに年四回位集まり高校時代にタイムスリップし親交を温めています。

学校にコンピュータを

12-3 大泉 紘一

売ってま

富士通様に勤務し、小中高にコンピュータの販売をしています(母校が他メーカー製でちょっと残念。企業や大学ではコンピュータの先進国日本も、小中高校への普及はいま一つです。生徒諸君がコンピュータ技術を修得することや、教育効果増進にコンピュータを役立てること

の研究に鋭意努力しています。長らくの趣味の将棋(五段)は、伸びの限界を感じてやや熱が冷め、コントラクトブリッジに興味を見出しています。

私の人生と音楽

12-6 志村 年子



三田高校を卒業してから三十三年、十六歳の時から本格的に音楽の勉強を始めて三十五年、桐朋学園卒業後、ピアノの主人との結婚、ドイツへの留学、ヨーロッパでの演奏、そして日本での演奏活動。母校での後輩への音楽指導と私の人生の殆どの時間は音楽と共にある。よい歌をよい演奏が出来るようにと願いがら私の毎日は練習を中心に進む。限りある残された時を大切に、最後を迎えるまでこの思いのままでありたいと心から。

写真とともに

12-7 飯沢 俊子

卒業して三十余年の月日経ちました。写真の専門大学を出て、現在は田園調布のはずれで写真スタジオを営んでいます。

お宮参りにはじまり七五三、入学卒業、成人式、結婚式等人生の節目を飾る記念撮影に専念致しております。特にスタジオ撮影はお客様との心と心を結ぶ芸術と信じ、皆様に喜ばれる作品創りを心がけ地道に歩んでおります。また趣味の社交ダンスと撮影も楽しみに続け、心身の若返りを狙っています。

アナウンサーとして

15—6 銅谷 志朗



山陽放送に3年間いたあとNET(現テレビ朝日)に移籍。平成3年5月迄、「大相撲ダイジェスト」ボクシング中継等を担当。現在は、フリーアナウンサー、相撲記者クラブ会友。テレビ東京「スポーツTODAY」、ニッポン放送「玉置宏の笑顔でこんにちは」等の相撲コーナーを担当。ケーブルテレビ「吟剣詩舞の世界」のキャスターをつとめる。また、執筆、講演等で活躍中。

輸入促進のために

22—1 後藤真知子

「欧米の酪農作業用具の輸出業者を教える」、「物流関連商品の輸入を考えている。何かおもしろい物はないか。」こんな問合せが毎日寄せられる。私が働いているジェトロ・輸入取引サービス課は、輸入促進のために海外に派遣している専門家が推せんする商品をいかに対日輸出に結びつけるかをワークすることが主な仕事。すぐれた商品との出会い、予想外の商品が大きな契約に結びついた時の驚きがあり、毎日おもしろい。

紙面をお借りして。我が課の一年生島田智子さんの仙台にいるお母さん(母上様三田高校卒のこと)智子さんは三人のうちのさい局のもと、真面目で元気に働いています。

都立高校の教員を二十年

22—2 原田あけみ

早いもので大学を出て二十年。この間都立高校の国語の教師を続けて来まし

た。都立は今年単独選抜に戻りますが、私自身が三田に入ったのが学校群制度の一回生としてでした。今度の改革が、生徒の学ぶ意欲を高めたり、少なくとも自己の人生を考えられる程度の意識を持たせたりすることに繋がると良いと思います。都の研究員や開発委員をさせて戴いた時の刺激をもとに、昨年からまた大学に戻って文学の勉強をやり直しています。(都立大森東高校教諭)

ロケットの開発

22—6 三輪真真

私は、宇宙開発事業団でロケットの開発をしています。最初の計画立案から、各社に進む設計の点検と方針の決定、機体・搭載機器の製作管理、飛行経路計算、種子島の射場での整備作業と打上げなど、いろいろなことを経験します。ロケット追尾で外国に行くこともありますが、先年の毛利さんの飛行のときにはフロリダで支援もしました。しかし何と一つも、自分の担当したロケットが轟音とともに打ち上がるときが、一番感動します。

チェンバロの生まれる家で

25—4 横田まゆみ

「楽譜と演奏」が音楽のすべてではありません。ピアノを教えている私は「良い聴き手であること」の大切さを信じ、歴史の話、楽器の話、音楽家の話なども織り込んでゆつくりと未来の聴衆を育て



中国語通訳として

32—3 渋谷千春



現在私は、中国語通訳の仕事をしています。一回の仕事ごとに異なる専門分野の通訳をすることが多く、中国語だけでなく、日本語でも各専門の勉強をしなければなりません。普段の準備がものを言え、緊張を強いられる仕事ですが、日中両国の様々な分野の第一線で活躍されている方々から色々なお話をうかがえるのは、非常に魅力的です。出張も多いですが、中国人の夫の協力もあり、忙しいながらも充実した毎日を送っております。

◆大橋鎮子さん(10才)が、平成六年二月に、「東京都文化賞」を受けられた。長年にわたって雑誌「暮らしの手帖」の編集発行に携わり、数々の独創的な企画で出版文化の発展に貢献された功績によるものである。

◆神野能生子さん(2—2)が、平成五年秋の叙勲で「藍綬褒章」を受けられた。昭和四十三年より、名古屋家庭裁判所豊橋支部家事調停委員として務められた功績によるものである。

◆強引な名簿・広告業者に御注意下さい◆

最近、三田高校卒業生の職業別名簿を発行するという名目で往復はがきや電話で個人情報を探ろうとしたり、高額な広告を依頼してくる業者がいくつも出現しております。これらの業者は当ワカバ会とは一切関係のないものです。

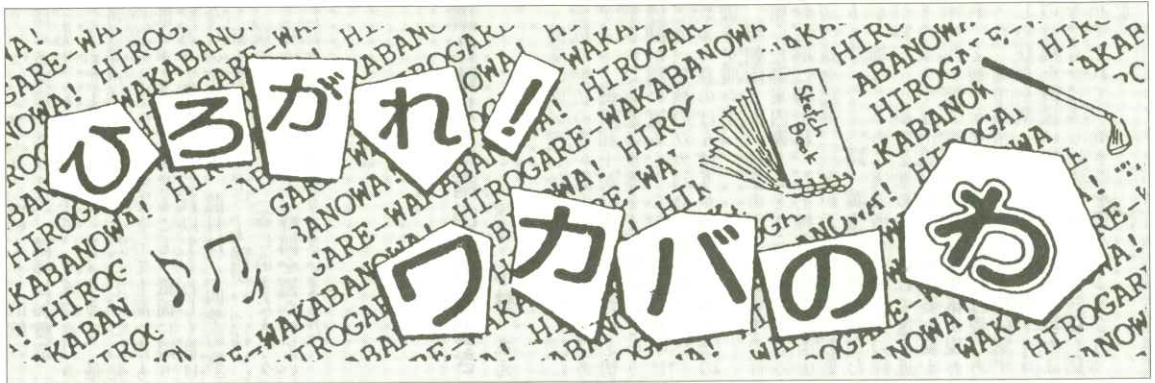
ワカバ会では会員のプライバシーを守ることを厳に心がけております。皆様も言葉巧みな業者には、くれぐれも御注意下さい。

総会報告

平成五年五月二十三日(日)午後一時より母校音楽講堂に於て「第五十六回ワカバ会総会」が開催された。定足数、百名のところ、一二四名の出席を得て議長に若菜会長を選出し、次の議案を審議、評議員選出を会長に一任して全案承認可決した。

- 一、平成四年度事業報告・決算
- 一、平成四年度監査報告
- 一、平成五年度事業計画・予算案
- 一、評議員改選

次いで午後二時より懇親会が小此木慶先生の御発声による乾杯で開宴され、和やかな歓談のうちに山荘ベア宿泊券やお食事券、時計など豪華賞品多数の福引に興じ、午後四時、散会となった。



一日見学会 深川界限をあるく

19— 小澤 敏子

「江東、隅田川」という響きの中に、人情や心意気を感じ、一度は歩いてみたいと思っていたので、今回の企画に喜んで参加した。

楽しみにしていたのに前夜からの雨は止まず、足どり重く家を出たが、集まった先輩方のエネルギーで明るく、霧開気になんか気分も吹き飛んでしまった。森下駅を出発。雨のお陰で道端に咲く紫陽花や庭の花の瑞々しさが印象的。最初に芭蕉記念館を訪ねた。長い旅の歴史を載めた展示品は勿論、芭蕉の句に読まれた草木を植えた小庭園がとっても味わいのあるものだった。お昼は深川名物のあさりめしを頂きながら、オセンチ山の女学生時代へタイムスリップのおしやべりの一時。

満腹の後、清澄庭園へ。入園の際「シルバー無料。60歳以上の方」の声に「あら得したわ」。元氣な答がこちらから得た。雨も上がり緑が美しく、各地から蒐集した岩々も珍しく、回遊式庭園を一周り。深川江戸資料館は、当時の町を職人さん達の手で再現したもので、家々の間戸裏やかまど、井戸、縁側に物干し等々。人々の生活がそのまま伝わってきた胸の高鳴りを覚えた。靈厳寺の巨大な地蔵の穏やかな顔に見入り、法乗院のエンマ様の睨みに身を凍め、都内最古の朱色の鉄橋に歴史を感じ、富岡八幡宮の横綱力士碑に溜息をつくと、すべてが物珍しく、無事最終の深川不動へ到着したのは4時近く。殆ど歩きどろろ、雨のせいもあり足は多少疲れたが、至る所に昔の面影を見、心休まり暖かしの充分感じられる一日だった。

親睦ゴルフ会

8— 世話係 山口謙一郎

昭和五十九年七月二十一日に第一回のコンペが開催されて以来、昨年九月四日

で第十回目を迎えました親睦ゴルフ会は山荘の利用促進を目的として故原口佐与氏(4才)のご尽力により「軽井沢72ゴルフ東コース」を使用し実現した会です。当初は20名程の参加者を集めるのに同窓生以外にも依頼したりして多少苦勞致したようでしたが、昨今は山荘収容人員一杯の七組28名程の参加者があり、盛況を極めております。

第一回よりの優勝者を列記しますと、黒沢 博(5-16)二連覇、小林 皓(8-13)、高田 真(5-16)、山口謙一郎(8-11)、山下輝雄(8-12)、長沢 根美葉(2-12)、鈴木義守(8-13)、平山孔嗣(29-2)、鈴木義守(8-13)となります。又、第七回コンペでは岡直子氏(19ウ)がホールインワンを達成致しました。第六回迄は七月の最終土曜日に開催されておりましたが、天候が不安定なため、第七回以降は九月の第一土曜に行っており、競技は新ペリア方式です。ので、どなたでも気軽に参加頂けます。九月初旬の軽井沢は大変清々しく最高のコンディションに恵まれますので、本年九月三日にも皆様と白球を打ちたいと願っております。

母娘三人でヨガ教室

21—3 堀 良子

考えてみれば、妹と私は同じ三田高校同窓生。ところが、卒業後は、大学進学、就職、結婚、夫の赴任でサンパウロでの海外生活、と、あわただしく過ぎる内に、その共通の話題も忘れがちでした。それが、この春、長男の高校進学を目的の前にして、にわかに自分の「高校時代」を思い起こし、無性になつてく……。

ちょうど手元には、ワカバ会報が。「山荘でのヨガ教室」が目にとまり、妹を誘ったところ、なぜか自分も同窓生と錯覚(?)している母も加わって母娘三人で参加させて頂くことになりました。あいにくと当日の天気はおどろき気味でしたが、快適な山荘とおいしい食事そして母娘の往年の宝塚スターの千葉先生ご指導のヨガ教室、年代は違っても

なぜか話題がはずむ同窓生面々の語らいは、大いに満足。
ヨガについては全くの初心者で、この会には初参加の私達でしたが、千葉先生はひとりひとりにあわせて丁寧に教えて下さり、世話役の杉本様の暖かいご配慮のおかげで、本当に楽しく過ごすごうございました。ありがとうございました。

第六の昔乙女たちは「霧に消えた人」が大好き?

4—6 鈴木 典子

ワカバ山荘でコーラスがあることは前から知ってはいましたが、もう声がすっかり出なくなりました。もう声が出なくなると、先生もとても優しく、肩の張らない会だからと、お勧めを受け、では行ってみようかな、と心が動きました。ワカバ山荘は三度位行っています。で、私一人が参加したので、当日、軽井沢は冷たい雨が降っていたので何処にも寄れず、真つ直ぐ滝本先生一行とタキシードで山荘へ。高橋登志先生もお元気に御参加。楽しく賑やかな夕食パーティーが始まりました。何年振りかの学窓仲間達から、そのなごやかで楽しい事。七時よ



りいよいよコーラスの始まり。旧館の二階に音楽室があります。講師は加藤恭二先生。お話が上手で、ぐんぐんひきこまれてしまいました。アメリカで、最新の発声法を学ばれてきたこと。この発声法だとどんな年をとっても高い声も低い声も響きで出せること。紙面に限りがありますので、これ以上くわしく書けないのが残念です。曲目は、「四季の歌」「虹と雪のパレード」「太陽がいっぱい」「遠くへ行きたい」「霧に消えた人」久し振りに乙女づくしな時間を過ごさせていただきました。有難うございました。

讃仏観月会・南山の辺道歩き

12才 小林 さえ

御堂の扉が音もなく開くと、物さびに金色の御仏の姿が闇の中に忽然と浮びあがる。鑑真和尚が日本に伝えたいと切望された慈悲の世界を正に眼前にという感動が胸に迫る……この素晴らしい幕明けで九三年秋のワカバ会の旅は始まった。数多の萩のぼんばりがほのかに観月会の御寺を照らす。

翌朝雨上りの青空の下、笠原先生の行届いた御案内書とことさら緩めて下さるお足取に導かれ、石上神宮を起点に南山辺の道を総勢二三名が元気に辿る。万葉人も歩いたこの路、黄金の稲穂が頭をたれ、柿はたわわに実り所々を彼岸花の紅が彩る……歩を進めるにつれて遠く近くの柔らかな山笠がおもむろに姿を変え、木の生い繁る古の御陵や環濠集落が現われ、と穏やかながら変化に富む行程であつた。途中長岳寺でそめんと柿の葉ずしの昼食を楽しみ、三輪大社で約十キロの行程を最後に終えた。御神体三輪山はなだらかに美しい姿を途中惜しみなく見せてくれて、故き時を偲んだことであつた。

翌日はマイクロスバスで南山城古寺巡礼

委員会報告

総務委員会

会務の効率的な運営を図るため、コンピュータを導入することとしました。平山孔嗣さんを中心として、機器類の選定等を精力的に推進し、機器類の設置をほぼ完了し、次年度以降の利用に備えていきます。

委員長

高野 紘一 (8-13)
鈴木 登志 (1E)
平山 美智子 (9-13)
孔 嗣 (29-12)

企画委員会

昨年の唐招提寺観月会の旅はあいにくの雨でしたが、真暗な堂内に浮上る金色の仏像、境内を照らす萩のぼんばりは忘れられぬ光景でした。この折、関西支部の方々に大変御世話になりました。厚く御礼申し上げます。新企画のゲーム大会も大好評でした。今年も別掲の通り実施しますので皆様奮って御参加下さい。

委員長

佐々木 昭 (5A)
瀧本 阿彌子 (13I)
中村 左都子 (7-12)

事業運営委員会

平成五年度軽井沢山荘及び鶴の木駐車場運営について報告します。山荘の利用者数は九三一名で前年度より一四五名減。天候不順によりキャンセルが多数出たためです。駐車場は順調に運営されており、三月三十一日現在二十六台が契約中で、一台未契約です。

委員長

山口 謙一郎 (8-11)
杉本 貴久子 (16才)
竹内 和世 (5-14)
齋藤 節子 (7-13)
中垣 俊二 (8-12)

会計委員会

本年度は、名簿の作成発行などの大きな行事もなかったため、比較的平穏な年でした。今年は、永年委員を勤めて頂きました玉置修次氏が退任され(ご苦勞様でした)後任に今まで監事を勤められていた次木氏が就任されました。委員会の開催日は、五年四月三日、一〇月二六日、一二月六日、六年三月一七日でした。

委員長

笠原 也 (15-14)
松永 佐智子 (12E)
茨木 万理 (19E)
齋藤 節子 (7-13)
平山 孔嗣 (29-12)



平成 4 年度決算・平成 5 年度予算

科 目	平成 4 年度決算額	平成 5 年度予算額	科 目	平成 4 年度決算額	平成 5 年度予算額
I 収入の部			II 支出の部		
① 基本財産運用収入	5,133,183	4,300,000	① 事業費	20,096,900	13,595,000
② 会費・入会金収入	7,045,896	6,785,000	② 管理費	6,451,393	8,880,000
③ 事業収入	6,898,227	7,400,000	③ その他支出	3,263,220	3,200,000
④ その他収入	13,432,291	7,620,000			
当期収入合計 (A)	32,509,597	26,105,000	当期支出合計 (C)	29,811,513	25,675,000
前期繰越収支差額	49,758,305	52,456,389	当期支差 (A)-(C)	2,698,084	430,000
収入合計 (B)	82,267,902	78,561,389	次期繰越収支差額 (B)-(C)	52,456,389	52,886,389

広報委員会

「わかば」 36号の編集をいたしました。原稿、情報をお寄せいただいた方、ご協力ありがとうございました。紙面をおかりしてお礼を申し上げます。

委員長 小川しげみ

委員 長小川しげみ (7-7)
小針 淳 (40-3)
押原 建三 (40-8)
田中 浩 (32-5)
柳沢 孝子 (22-2)
戸田 雅子 (19-4)
笠原 俊也 (15-1)
中垣 俊二 (8-2)
竹内 和世 (5-4)

理事会等
報告

- 4月 理事会 出席11名
○決算・予算案、総会準備、母校創立70周年記念事業、会報発送等。
- 5月 評議員会 第56回総会
評議員会(15日) 出席60名(含委任状)
○総会議案承認、理事改選に伴う選出。
第56回総会(23日) 出席一三八名
総会後、親睦会食、福引等。
- 6月 総務委員会 出席6名
○コンピュータ導入についての説明会
- 10月 理事会 出席12名
○各委員会報告、母校創立70周年式典報告、コンピュータ導入準備進捗状況、会報発行準備等。
- 12月 理事会 出席13名
○各委員会報告、コンピュータ機器購入と会員名簿入力、広報原稿依頼発信。
- 1月 理事会 出席15名
○各委員会報告、パソコン機器セットアップ進行中、平成六年度事業計画案等。
- 3月 理事会 出席11名
○平成六年度予算案、総会準備等。

桃太郎校長に逢おう

3ウ 上田 葉子

久しぶりに緊張感で開けた書籍小包、『われらの桃太郎先生』の顔を見たとなん、大それた事をしたのはないかと不安が過ぎた。そう、あの暴れん坊で目立ちたがり屋の自称「葉チャン」が寄稿してしまつた本。覚えていた方居ない方皆さん読んで欲しい。立派な方々の記憶にある桃ちゃん校長の訓示の数々が未だに光っている。但し葉チャンの頁は飛ばしてね。女性達による編集万才。

われらの桃太郎先生追悼集をよんで

2-1 野々山 矩子

桃太郎先生の御遺稿を拝読して、まさに三田高校当時の先生の御温顔、御声が彷彿と甦つてしばらく時を忘れました。沢山の方々が寄せになつた先生への想いは、自由さ、若々しさ、そしてあのにこやかな顔、徹底した科学主義、合理的精神への尊敬、心からの親愛の情が迸つてきたところを知らない。天寿を全うされた桃太郎先生に尽きぬ感謝を捧げます。

一昨年、七月になくなられました鈴木桃太郎先生をお偲びして追悼集「われらの桃太郎先生」が、関係者の方々の協力により、出来あがりしました。もしご希望の方がおいででしたら、お求めください。

申し込み先 岡崎幸子
TEL 03-3333-5013
FAX 03-3333-5252
住所 杉並区高井戸東2-20-11

追悼

謹んでご冥福をお祈りいたします (敬称略)

田中 健蔵	(旧職員)	5・1	没年月	小野 夏子	(高島)	7ウ	所 属
阿部 俊子	(旧職員)	5・10		井内 まさ子	(島崎)	8ア	
大原 君子	(原)	5・3		真壁 孝	(清水)	8ウ	
吉井 美智子	(馬場)	5・3		滝沢 喜代子	(井上)	9ウ	
荒木 茂	(中村)	5・6		秋山 俊子	(二宮)	10イ	
保科 千鶴	(中村)	4・6		大久保 品代	(宮崎)	11イ	
野田 洋子		不祥		今井 敬子	(山田)	11ウ	
飯田 さなへ		不祥		高田 貞子	(安西)	12イ	
笹原 日出子	(小林)	不祥		石井 花	(川島)	12エ	
佐倉 八重子	(前田)	不祥		大瀧 満喜子	(針谷)	13イ	
根本 春代	(森)	不祥		鈴木 千鶴子	(市野)	14イ	
土岐 米子	(菊田)	不祥		長沼 珠子	(富森)	14イ	
三枝 文子		5・3		大森 行子	(津雲)	15ウ	
萩原 千枝子	(永谷)	5・10		是永 美保子	(黒田)	15ウ	
井出 宮子	(佐島)	5・10		宇佐川 瑳千子	(橋本)	16イ	
小林 節	(米田)	5・3		久間 かづ子	(山田)	16オ	
芹沢 くに子	(近藤)	5・12		河西 愛子	(宮下)	17エ	
タミコ・T・ヘルパー				松岡 昭子	(高木)	18修オ	
吉川 登志子	(土屋)	5・5		堀 昭子	(平石)	19ア	
山下 みさき	(中山)	5・6		對馬 ゆき子	(瀬古)	19ア	
加納 久子	(松本)	5・4		吉田 規子	(角谷)	5・7	
薄 フジ		5・10		中野 本子	(佐田)	5・7	
高木 基久子		5・4		大村 美代子		5・7	
日野 雪子	(山内)	5・5		紀 秀公		6・5	
加藤 玉枝	(柏木)	5・5		五十嵐 桂子	(小川)	8・1	
島崎 正流	(宗沢)	5・8		森田 稔夫		8・6	
石腸 祥子	(国友)	5・9		中村 慶彦		10・4	
河野 由利子	(古賀)	5・8		北沢 慶彦		10・6	
西浦 芳江	(荒花)	6・1		永島 武之		14・3	
寺田 武子	(山下)	6・5		相馬 恵子		22・3	
山本 登美子	(山本)	7・1		齊藤 昭彦		30・6	
矢野 ふさ		7・2		三島 由子		35・5	
峰岸 和代		7・1		千葉 久子	(加瀬谷)	14ウ	

事務所だより

◇会費納入のお願い

平成 5 年度も会費納入にご協力くださいまして有難うございました。

ワカバ会は皆様の会費で運営されております。今後ともワカバ会の維持発展のために任意の年会費（年額 2,000 円）をお納めくださいますようお願い申し上げます。

会費納入には同封の振込用紙をご使用ください。住所、氏名の他に旧姓、卒業回組または年度、電話番号を忘れずに振込票の表と裏にある記入欄に記入してください。

〔付記〕封入と発送を委託しております都合上、会費を数年分まとめてお納めくださった方々にも振込用紙が一律に届きますが、ご了承ください。

◇消息不明者にならないでください

ワカバ会では先般の名簿発行を機に、2 年毎に消息不明者名簿を発行して皆様からの情報を頂くことになりました。

今回同封の不明者名簿をご覧の皆様から沢山の情報が寄せられますのをお待ちしております。

移転や結婚その他で住所、氏名、電話番号住所表示が変わったときは必ずワカバ会事務所へご一報ください。手紙でも電話でも結構です。クラス会、同期会、OB 会、等で新しい名簿を作られましたら、ぜひワカバ会へも 1 部お送りください。

尚、ご不明の点はワカバ会事務所へご遠慮なくお問い合わせください。

◇委託販売品提供のお願い

軽井沢山荘で会員手づくりの品をお土産品として販売しています。委託していただける方がありましたら、ワカバ会までご一報ください。

東京都立三田高等学校同窓会
社団法人 ワカバ会

▶ワカバ会の事務

時間 午前 10 時 30 分～午後 4 時

休日 土曜日・日曜日・祝祭日

▶連絡先

〒108 港区三田 1-4-46

電話 (03) 3 4 5 1-0 2 2 7

FAX (03) 3 4 5 2-4 5 9 0

編集後記

楽しい「わかば」にするためにみなさまからのおたよりをお待ちしております。

参加しませんか!

企画委員会主催

《歴史と自然の会》

平成 6 年度の旅は、一と足早い秋を求めて山のぼりと、年明けて早春の奈良に「鬼追い」の祭をたずねます。

講師は笠原最季雄先生です。皆様のご参加をお待ちしています。

1. 烏山鮎狩り、那須茶臼山登山

期 日 9 月 27 日 (火)～28 日 (水) 1 泊 2 日

定 員 20 名 (申込先着順、定員になり次第締切)

参加費 23,000 円 (往復バス代、宿泊、保険料他)

申 込 7 月 15 日 (金) までにワカバ会事務所に電話で。

2. 吉野蔵王堂鬼火の祭典、興福寺の鬼追い

期 日 平成 7 年 2 月 2 日 (木)～4 日 (土) 2 泊 3 日

定 員 20 名 (申込先着順、定員になり次第締切)

参加費 32,000 円 (宿泊費、現地交通費、保険料他)

申 込 12 月 20 日 (火) までにワカバ会事務所に電話で。

《一日見学会》

杉並歴史散歩

期 日 11 月 12 日 (土) 午前 11 時集合

定 員 20 名 (申込先着順、定員になり次第締切)

参加費 2,000 円 (資料代、保険料他)

申 込 9 月 20 日 (火) までにワカバ会事務所に電話で。

《ゲームをたのしむ会》

第 2 回 麻雀

昨年、「ゲームをたのしむ会」で麻雀をとりあげましたところ、大好評で、本年も是非「麻雀を」とのご希望が寄せられましたので、昼の部、夜の部を設け次のように計画いたしました。講師はガラバゴス代表田嶋先生。多数ご参加下さり、おおいに楽しんでいただけるようご案内します。

期 日 夜の部：6 月 16 日 (木) 午後 6 時 30 分集合

昼の部：6 月 20 日 (月) 午前 10 時 30 分集合

場 所 日本健康麻雀協会本部 (渋谷ユニ道玄坂ビル 4F)

定 員 昼の部・夜の部 各 40 名 (10 卓)

申込の際(A)、(B)の何れかを自己申告を願います

(A)点数計算ができる

(B)ゲームはできるが、点数計算はできない

参加費 昼の部、夜の部とも 3,000 円

申 込 5 月 24 日 (火) までにワカバ会事務所に電話で。

◆以上についての要項は参加者全員に配布します。